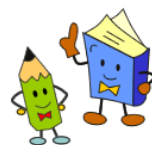


【 会員投稿 】

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 を知っていますか

岡島 清二



製品評価技術基盤機構(略称NITE:National Institute of Technology and Evaluation)とは、本所の東京を含め全国10ヵ所に施設を置く、経済産業省の出先機関です。(下図1参照)もともとはその名の通り製品の評価や技術の基盤研究機関でしたが、官から民へのかけ声通りに規模はこれまで縮小の一途でした。しかし皆さんの記憶に新しい「松下のFF石油暖房機」更に「パロマの瞬間ガス湯沸かし器」の製品事故を機に、「消費生活用製品安全法」(消安法)が平成18年12月に改正され、製品重大事故の届出や安全対策等の強化が為されたことで業務内容が一変し、多忙な役所に様変わりしました。即ち製品事故の全てが重大事故の場合は、経済産業省経由で、そうでない事故は直接 NITE へ入り、事故原因究明と再発防止策を講じる手続きが取られることになったのです。(下図2参照)そこで人員を増やすこと適わず、民間企業OBの委嘱調査員制度が出来て、北関東支所(桐生市所在)では現在私を含め5名の企業OBが活躍しています。調査員は職員を補完し、製品事故原因究明のための関連業務全般(事故現場の聞き取り、事業者の面談、再現試験や報告書の作成)更に消費者団体、消防等への啓蒙活動を職務としています。

これらの動静は、規制緩和の弊害が格差社会という形で顕在化していますが、製品安全についても重大事故の隠蔽、輸入品の安全欠如等を含め、規制強化への部分修正もやむなしという背景があると考えられます。インターネットで「NITE」「製品事故」等のキーワードで検索すると、興味深い情報が目に留まることでしょう

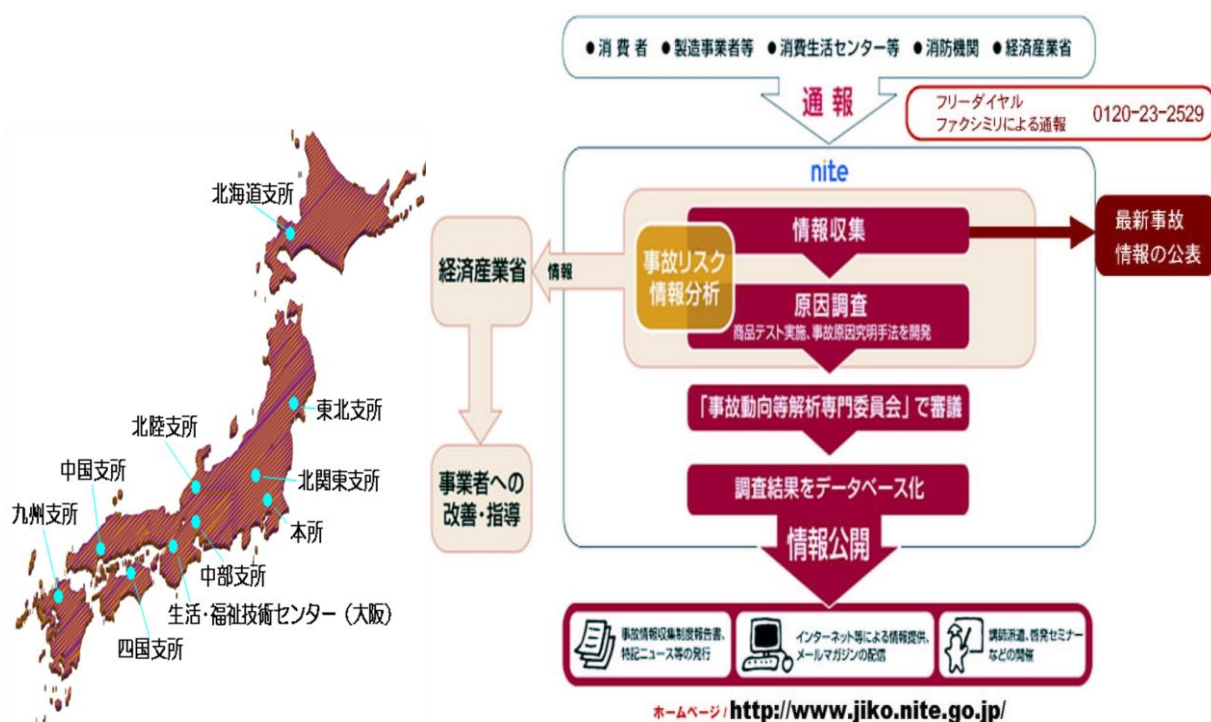


図1

図2

○結び 今回は総論的に業務の内容を紹介しました。限られたページのため細切れになりますが、次回はどんな製品事故がどれくらい発生しているのか、更に以後は個々の製品事故例の中から「あれ！そんなことがあるの??」というようなものや、最近のリコール製品の中身をシリーズで順次紹介していきたいと思います。それから来年4月より長期使用製品の「点検・表示制度」がスタートします。すでに市町村行政でも回覧版で紹介されております。この制度の詳細についても紹介をしたいと考えています。いずれも書き下ろしのオリジナル情報です。歳を重ねたら「何は兎も角 転ばぬ先の杖」知っていれば未然に事故を防ぐことも可能です。ご期待ください(本稿へのご意見ご質問は事務局又は筆者宛てメールでお願いします)

(筆者 岡島 清二 アドレス:cftth763@ybb.ne.jp)

【 会員投稿 】

失敗前の製品事故知識シリーズ (2)

岡島 清二

今回は 製品事故の概況 を紹介しましょう

I. まず、最初は全体の事故について

図1に年度別収集件数の推移(07'のみ製品別内訳もした)、図2に原因系内訳(06')を示しました。

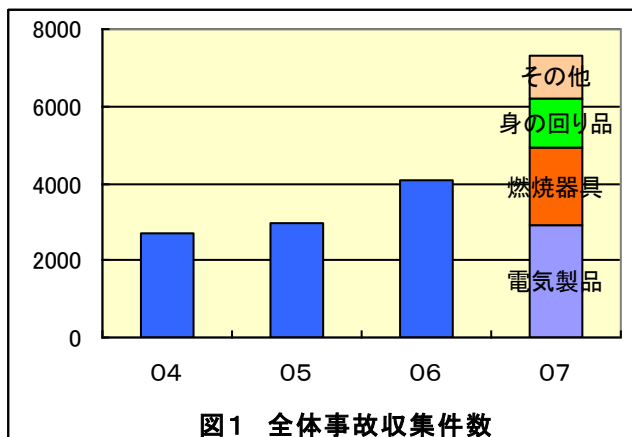


図1 全体事故収集件数

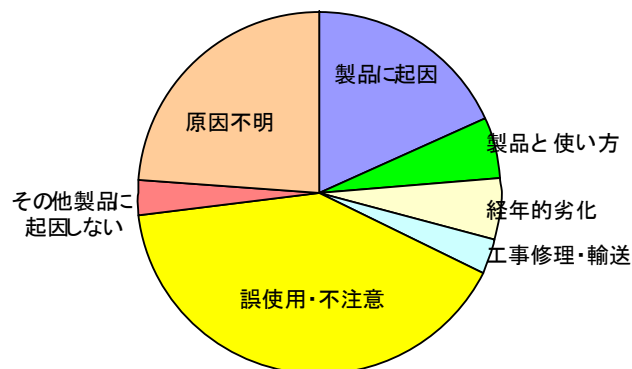


図2 事故原因系別内訳(06年)

法改正で07'の増加が目立ちます。08'は更に増えそうです。原因系では誤使用・不注意が注目です。

「製品を使う人がもっと注意すべし」と分析結果は示唆しています。そこで事例紹介が役立つ所以では・・・

II. 次に、重大事故を紹介します

重大事故とは、死亡、重症(全治30日以上)、後遺症、CO中毒、火災に至った事故です。

図3に重大事故(07')の被害区分の内訳比を示します。火災が8割を占めています。

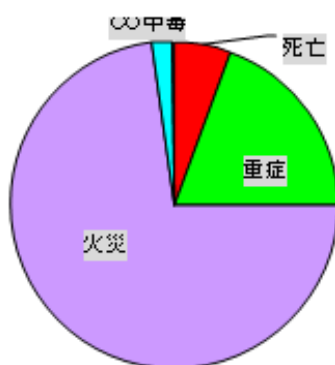


図3 重大事故被害区分(07年)

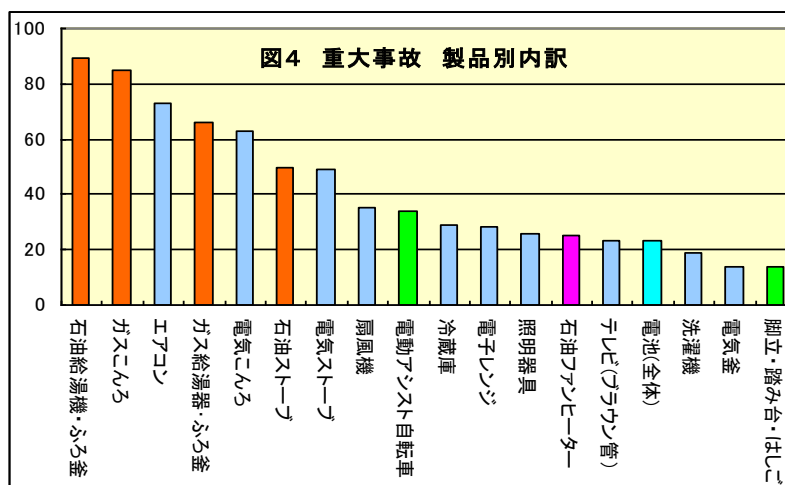


図4は製品別の重大事故ワースト18(07')を示したものです。

燃焼機器が上位を占めるのは、火災が多いことから納得でしょう。エアコンの上位は意外で、電気こんろは一口こんろで馬電も関係が深く、成るほどということでしょうか、また電気ストーブは輸入品の事故が目立っています。扇風機の上位は経年劣化が問題です。変わったところでは電動アシスト自転車も普及台数の割に多いこと。さらに脚立・踏み台等の事故(落下)が多いことも中高年としては肝に命ずるべきです。石油ファンヒーターが家電製品としては8位、全体で13位と意外と下位にあるのは、個人的に安堵しています。

知っ得メモ

製品重大事故は、事故を知ったときから10日以内に、経済産業省製品安全課(METI)へ届け出の義務が、製造及び輸入事業者にあります。即ち海外製造品は輸入事業者の責任です。国内法は海外まで適用されません。したがって若し輸入事業者が倒産して、リコール等の債務履行が出来ないと、使用者(被害者)の補償は・・・泣き寝入りとなります。グローバル化・円高経済の心すべき点です。

【 会員投稿 】

失敗前の製品事故知識シリーズ（3）

岡島 清二

今回は、製品安全点検・表示制度の紹介です。

平成19年の臨時国会において、「消費生活用製品安全法」が再改正されました。
前年(18年)の改正に次ぐ、製品事故未然・再発防止策の更なる仕組みが創設されたものです。

長期使用製品安全点検・表示制度がスタートします

平成21年4月1日から、長期間の使用による経年劣化で重大な危害をおよぼす事故が起こっている製品や事故件数の多い製品に対して事故を防止するための「長期使用製品安全点検・表示制度」がスタートします。

長期使用製品
安全点検制度

この制度は、経年劣化により重大な事故に至るおそれのある9品目（特定保守製品）※1の製造・輸入事業者（特定製造事業者等）、販売事業者等（特定保守製品取引事業者）、関連事業者、消費者等（所有者）がそれぞれの役割を果たして経年劣化による事故の防止を図る制度です。

所有者の責務

特定保守製品※1の所有者は所有者登録を行い、点検期間に点検を受ける責務があります。事故が発生すると他人に危害をおよぼすおそれがありますので、必ず点検を受けてください。

※1… 屋内式ガス瞬間湯沸器（都市ガス用、LPガス用）、屋内式ガスふろがま（都市ガス用、LPガス用）、石油給湯機、石油ふろがま、密閉燃焼式石油温風暖房機、ビルトイン式電気食器洗機、浴室用電気乾燥機

長期使用製品
安全表示制度

この制度は経年劣化が原因の事故が多い5品目※2について、所有者に長期使用時の注意喚起を促す表示を義務付ける制度です。

※2… 扇風機、エアコン、換気扇、洗濯機（洗濯乾燥機を除く）、ブラウン管テレビ

詳しくは経済産業省のホームページでご覧いただけます。

http://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

背景と解説

① 安全点検制度

消費者自身による保守が難しく、経年劣化による重大事故発生(特に火災、CO中毒)のおそれが高い**燃焼・大電力系の設置型製品**が対象となっています。

具体的には「**標準使用期間**」を予め事業者・業界団体が決め、この使用期間を経過した製品に対して「**点検期間**」を設け、所有者に通知を出し、**点検作業を実施**する制度です。

換言すれば、現在使用中の当該対象製品は、長期間(おおよそ10年前後?)使用しているものは、**今すぐ保守点検をしないと、「すこぶる危険ですよ」ということになる**と思います。

② 安全表示制度

特定保守製品ほどではないが、それでも経年劣化事故の多い製品が対象です。

4月1日以後に製造・輸入される対象製品は、長期使用時の「**注意喚起の表示**」が本体に表示されます。見方を変えれば、現在使用されている対象製品は、長期使用していると、火災事故発生の危険があるので、古い製品は**心して使用する**か、**廃棄**しなさいということになると思います。これまでに当該対象製品にはどんな事故例があるのか、長期とはどの位か等々、追々紹介したいものと考えています。

(岡島記)

訃報



三田 明 さん（太田市大島町 享年 79 歳）

2月21日 ご逝去されました。ご冥福をお祈りすると共に、お知らせします。

【 会員投稿 】

失敗前の製品事故知識シリーズ (3)

岡島 清二

あなたは **突沸** ってますか？

液体が沸点を超えても、沸騰を起こさない場合があります、これを**過熱状態**といいます。過熱状態にある液体にちょっとした**ショック**が加わると、突然 沸騰が激しく起こります。この現象を「**突沸**」といいます。

事例としては、水、牛乳、豆乳、お酒、コーヒー、スープ、味噌汁などですが、その他の飲み物や食べ物でも、発生する可能性があります。突沸は加熱源が、ガスこんろ、IHヒーター、電子レンジ等いずれの調理器でも発生します。事故例は年間数件ですが、珍しくも**危険極まりない事故**なので紹介します。いずれも**予防は加熱前や途中で、よくかき混ぜることそして説明書をよく読み守る**ことです。

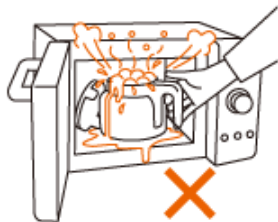
ガス火とIHヒーター

ガス火とIH加熱による発生の度合い差は不明ですが、アルミ鍋に比べ、**ステンレス鍋**の方が発生し易いと言えます。ということは、IHの方がステンレス鍋を使う比率が断然高いので、必然的にIHの方が話題となります。火力は弱火より強火の方が出易いとの説があります。また粘性の高い液体ほど出易いが、水そのものでも具やダシを入れた時、起きたという例があります。被害状況は吹きこぼれそうになっただけとか、鍋がひっくり返って、**顔面に大火傷**をした例もあります。最初の加熱より**再加熱**が発生し易い(水だけの場合も)ようです。

最近のステンレス鍋には、「突沸注意」と表示をして販売しているものがあります。沸騰石や鎖付きコーヒー沸し器(下図)等の予防アイデア商品も販売されています。過去に、ブランド味噌で多発したことがあり、味噌メーカーで原因を追究して、対策をとったという文献があります。

電子レンジ

電子レンジは加熱原理からして、突沸に近い状態で沸騰が起きやすいのですが、怖いのは電子レンジから、再加熱したものを出して、コーヒーに砂糖を入れたとき又は飲もうとした瞬間に突沸が起きることです。昔の電子レンジはタイマーを自らセットしたので、突沸が起きてもタイマーのかけ過ぎによる、「不注意」で処理されたようです。最近の電子レンジは、センサーが自動感知するので、突沸が起これば製品が疑われます。そこでメーカーは取扱説明書にしっかりと警告表示を記載しています。



突沸防止の鎖付
コーヒー沸し器

***突沸**は今なおブラックボックスです。
ある大学では研究室のテーマになっています。

知っ得メモ 突沸とは逆の、過冷却による瞬間氷結現象は、容易に再現できます。たくさんの氷と塩を混ぜ、そのなかにペットボトルに水を入れて、しばらく放置します。その後ゆっくりとペットボトルを取り出し、ショックを与えると瞬時に凍ります。又静かに注ぐと、瞬間にシャーベットが出来上がります。

計報



糸井 功 さん (太田市新田木崎町 享年 73 歳)

6月24日ご逝去されました。ご冥福をお祈りすると共に、お知らせします。

【 会員投稿 】

失敗前の製品事故知識シリーズ ⑤

製品事故例照会 再開のお知らせ

(岡島清二 記)

会報愛読者の皆さん、1年間のご無沙汰でした。又シリーズ投稿を再開させていただきます。
 この間、「消費者庁の発足」、そして「政権交代」があり、又「トヨタ車の欠陥」騒ぎや、幼子の「ガスライター事故」「パロマ湯沸し器有罪判決」等々、製品事故に関する話題には、事欠きませんでした。
 なれど、「身近で起きていて、あまり知られず、意外な事故」に絞って照会し、未然防止にそして、いつも暇と脳力を持て余している会員の皆さんに、少しでも清涼剤になればと思っております。
 是非、ご家族、近隣・老人会等々で、酒飲み話で流布してもらえれば幸いです。
 ご意見・ご質問等は、事務局又は筆者メールアドレス：cftthh763@ybb.ne.jp へ、ご一報ください。

過去に投稿した会報バックナンバーです。＜ここ＞をクリックしてご覧ください。

- ・ シリーズ①「独立行政法人NITEを知ってますか・・・」(No.188) 平成20年12月号
- ・ シリーズ②「製品事故の発生状況について」(No.190) 平成21年2月号
- ・ シリーズ③「長期使用製品安全点検表示制度」(No.192) 平成21年4月号
- ・ シリーズ④「突沸って知ってますか・・・」(No.196) 平成21年8月号

今回は 残暑厳しい折 扇風機 による火災事故を 紹介しましょう



長期使用の扇風機で火災事故が発生しています。シリーズ②で07年度の発生件数を照会しました。その後08年、09年と減少傾向ですが、相変わらず電気製品のワーストクラスです。主たる原因は、進相用コンデンサが古いものは、ペーパー式であったため、経年劣化で過熱・発火に至るものです。モータカバーが金属からプラスチックになって、火災拡大するようになったのですが、当時の設計者や品証マンも、夢のまた夢であったはずです。最近のコンデンサはフィルム式に進化し、その危険はありません。一般的に15年前位のものは危険、20年になると非常に危険です。思い切って処分・買換えして、内需拡大にご協力しましょう。(換気扇も同様ペーパーコンを使用していました)

*左写真(含動画)はNITEで、再現実験し公開したものです。発煙から発火まで瞬く間なので、機敏な人でも消火にはタジタジです。就寝中なら身の危険に曝されます。

 ネットの読者には、特別に動画をお見せします。上の写真上をクリックしてご覧ください。

知っ得メモ 最近プロペラのない扇風機(右写真)があるのを知っていますか・・・サイクロン掃除機で有名なダイソンの新商品ですが、原理は円周状の隙間から勢いよく風を吹き出すことにより、周囲の空気を巻き込むエジェクター効果を利用したものです。我々現役時代には、考えもつかなかったアイデア商品に出会うと、心がうずきつつ、ローテクもまだまだ捨てたものではない、と安堵もします。菱の実会員の皆さん、暇つぶし・脳攪拌に、考案・珍案にチャレンジしましょう。散歩コースに百元ショップを入れ、変化の風を直に感じましょう。・・・ジャンボ宝くじより一攫千金の近道かも・・・



【 会員投稿 】

失敗前の製品事故知識シリーズ ⑥

火のない洗濯物から発煙・発火

(岡島清二記)

今回は火の気のないところで、火災になるという、こわい話です。

全自動洗濯乾燥機がなかった、我々の青春・子育て時代には、思いもよらない事故例です。

乾燥機能付洗濯機

乾燥機能付洗濯機の上部から発煙し、乾燥中のタオルが焦げた。

(平成18年10月 北海道)

なぜ？

アロマオイルの付着したタオルを乾燥機能付洗濯機に入れて乾燥させたため、付着した油分が乾燥により酸化反応を起こして蓄熱し、自然発火したものです。

チェック！

アロマオイル、食用油、機械油、ドライクリーニング溶剤、ベンジン、ガソリンなどの付着したタオルや衣類は洗濯した後も乾燥機に入れて乾燥させないでください。



4年程前に原因究明され、その後も全国で、年間4～5件起きています。洗濯後でも繊維間に、僅かながら油分が残り、実際 NITE の実験でも、自然発火が再現しました。

素材は異なりますが、同じ酸化現象として、「使いすてカイロ」の加熱原理を考えると理解し易いでしょう。

注1)アロマオイルは高価で、タオルに大量に付着する程使用しないと、その道のプロから叱られています。「美容(マッサージ)オイル」と読替ください。

注2)油の性質から植物油が発生しやすいようです。鉱物油(機械屋の作業着等)は大丈夫です。

ネットの読者には、特別に動画をお見せします。上の写真上をクリックしてください。

知っ得メモ 天ぷら油や塗料を拭いた布やティッシュ、又生ゴミ中に捨てた乾燥剤も、自然発火の原因となります。逆に生石灰と水の発熱反応を利用した、富久娘酒造の「爛番娘」という、木枯らし吹きすさむ時季、キオスクで売っている優れ者があります。

どんな原理・原則も未知は事故に繋がり、熟知して工夫を加えれば、新製品が生まれるのですね
なお、人間の体もある条件さえ揃うと、自然発火し炎の勢いで肉体が数分で灰塵に化すとか・・・大酒のみの人は特に注意必要かも？

第48回 ゴルフ愛好会コンペ報告

順位	氏 名	GRS	NET
優勝	竹沢 宏	81	70.2
準優勝	益子 喜雄	89	71.0
3位	鈴木 清一	81	71.4
4位	関根 詔三	80	71.6
5位	川口 博	90	72.0
6位	小林 初男	75	72.6
7位	島田 十助	86	72.8
8位	須永 幸江	97	73.0
9位	須永 光雄	85	73.0
10位	大竹 操	83	73.4

10月12日(火)に上武ゴルフ場に於いて、第48回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。今回は10月中旬のトップシーズンでの開催でしたが、行楽シーズンでもあって他の行事と重なってしまった人も多く最終的には31名の方に参加して頂き盛大に開催されました。当日はスタート時曇りで途中一時的に傘をさす場面もありましたが前半の途中から太陽が出て半袖で丁度良い天候で、コースコンディションも真夏の水不足で焼けた芝も回復して最高の状態になり気持ちの良いゴルフをエンジョイすることが出来た事と思います。結果は最大限ハンデキャップに恵まれて竹沢宏さんが優勝しました。次回の大会は12月2日(木)を予定しています。(上武ゴルフ場)

